

PA SYSTEM & ADAMSON S10+S119

# SPS-TAKUMI 音響技術研修2023

2024.2.28 / 清水マリナート 大ホール



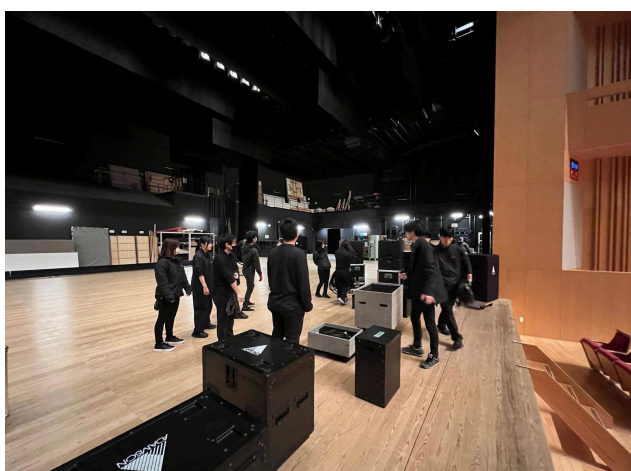
## ADAMSON S10システムを中心とした技術研修を開催

弊社音響セクションでADAMSONシステムを導入して1年半が経過し、中規模クラスのイベントにも対応できるようになりました。

今回は若手を中心とした音響技術社員を対象にADAMSONシステムへの理解を深め、より一層の技術向上を目的に音響技術研修を開催しました。

内容としては、ADAMSON S10ラインアレイを中心に、d&b Q1ラインアレイとの比較、リギング講習、Lake ProcessorとSmaart測定ソフトを使用したスピーカーの調整、共通音源を使用したスピーカーシステムの聴き比べ、Waves SoundGrid等のプラグインを使用した音作りを行いました。

では、順を追って紹介していきます。



## ADAMSON S10、d&b Q1システムのスタッキング

現場で最初に行う作業がスピーカーの設置になります。

リギングの機構は各スピーカーメーカーで様々な特徴があり、正しく使用しないと事故に繋がってしまう危険性がありますので、今回はより時間をかけて説明をしました。また、角度に関しては1F席が均一になるよう指示をしました。



S10は1台27kgと比較的軽量で、そこまで高さが無いアレイの場合は女性だけでもスタックすることができます。S10のスライドロック機構には少し特徴がありますが、途中からは慣れてきたのか、スムーズに組み上がって行きました。

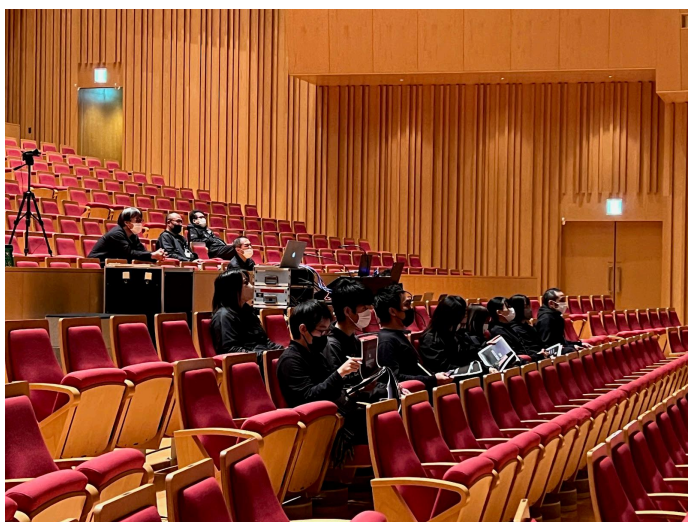
Q1は1台22kgとS10より軽く、角度調整機構も分かりやすいためスムーズにスタックすることができました。



## S10システム、Q1システムの説明、比較



ここからはプレゼン形式でシステムの説明をしていきます。



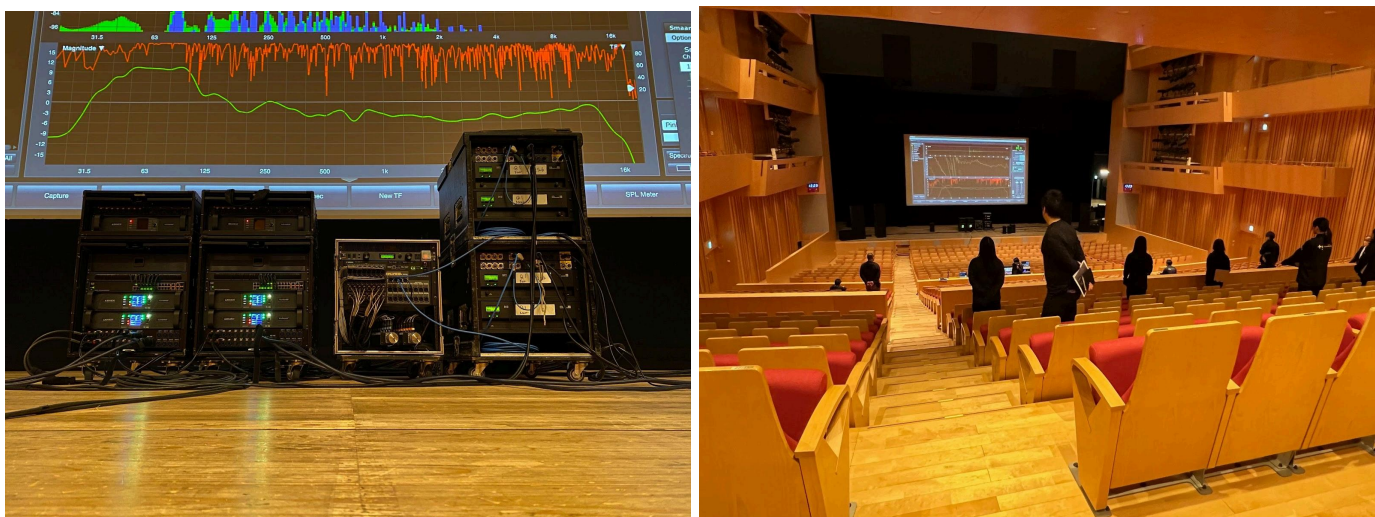
Lake Controllerの操作方法や各スピーカーの特徴などを詳しく、正しく理解することにより、実際の使用時に大きなメリットがあります。

## スピーカーシステムの聴き比べ

研修の一番の目的である、スピーカーシステムの聴き比べです。

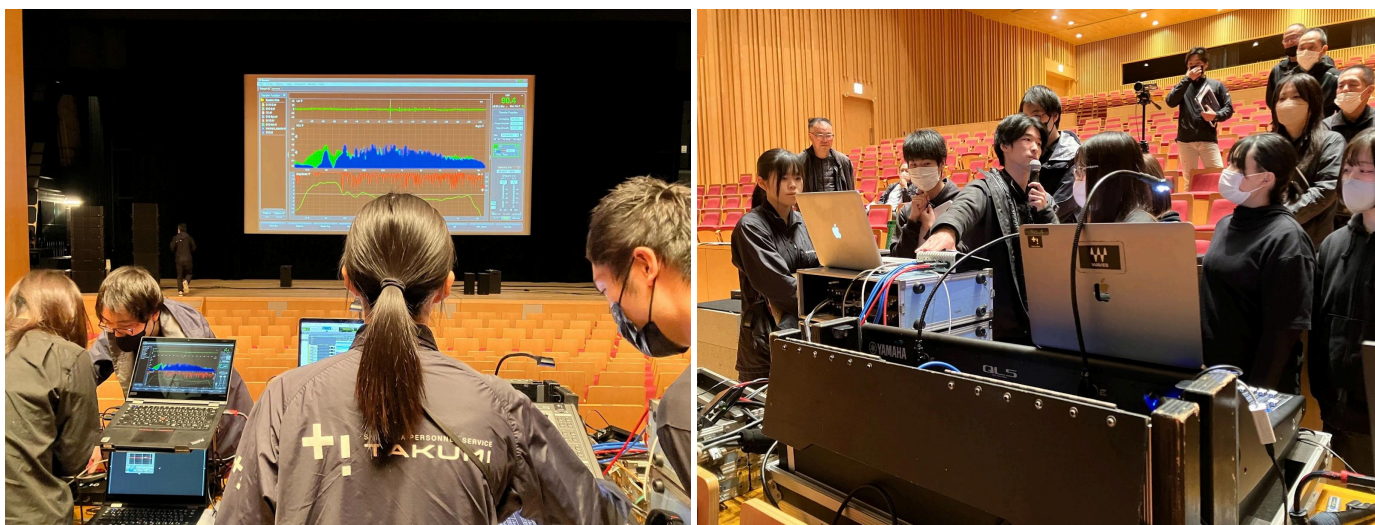


公平を期す為、予め2つのスピーカーの特性をSmaart上で似たようなカーブを描くように調整し、SPLもメーターと聴感上で揃えた上でスタートです。置き位置の関係で完全には揃いませんが、いい比較になったと思います。途中から、ADAMSONシステムを4/1から6/2に変え、アレイの本数によるカップリング周波数干渉、垂直指向性の上下干渉等でかなり変化することも確認できました。Topを6発スタックにしたことによって、奥行き深いマリナート大ホールでも均一なSPLを届けられました。



## Waves SoundGrid等を使用したプラグインの実用

研修の最後に行ったのが、Waves SoundGridを使用したプラグイン環境の構築、実践と、ProtoolsとDVSを使用したバラ音源のミックス体験です。音楽物のオペレートの機会が少ない若手社員にとっては、いい経験になったのではないかと感じます。



## まとめ

全体的にスケジュールの詰まった中、たくさんの情報や知識を伝えることができた研修会となりました。参加した社員も引き続き技術習得に励んで欲しいと思います。

機材は日々進化しています。技術者は機材に生かされていることを忘れずに、我々SPS-TAKUMI音響セクションはより機材への理解を深め、お客様に提供できるクオリティを更に上げていけたらと考えます。

最後に、今回の音響技術研修の開催にあたりご協力いただいた清水マリナートの関係者様にはこの場をかりて厚く御礼申し上げます。大変ありがとうございました。